

Fluid bolus therapy（輸液ボラス療法）と Glucose control（血糖管理）を併用した際の血糖値変化に関する後方視的研究

1. 研究の対象

2016年1月1日から2024年3月31日までの間に、岩手医科大学岩手県高度救命救急センターに入院した外科系患者様に対して人工膵臓を用いて血糖管理を行い、輸液ボラス療法を実施した方。

2. 研究期間

研究実施許可日～2024年12月31日まで

3. 研究目的・方法

術後や集中治療などを必要とする患者様は点滴（輸液療法）を行います。お身体の状態に合わせて、一時的に多くの点滴を短時間で行う輸液ボラス療法を行うことがあります。この輸液ボラス療法は、血圧低下などのお身体の状態を改善させる効果がある一方で、血糖値の上昇を招くことがあります。血糖値の乱れはお身体に様々な影響をきたします。このため血糖値を安定させる目的で安全かつ正確に血糖管理をする人工膵臓を用いることがあります。今回、輸液ボラス療法と人工膵臓による血糖管理を行った患者様を対象に、過去の診療録から調査を行い、輸液療法と血糖値の変動を検証することを目的とした研究を計画しました。

4. 研究に用いる試料・情報

情報：病歴、年齢、性別、既往歴、術式、集中治療における薬剤投与、併用治療薬、人工呼吸器設定、血圧、心拍、尿量 採血結果、血糖値 等

本研究で取得した上記の情報は、研究終了日から5年／結果公表日から3年（いずれか遅い日）で適切に廃棄します。また、上記の情報は、将来別の研究に二次利用する可能性及び他の研究機関に提供する可能性があります。

5. 研究費および利益相反

本研究は、岩手医科大学医学部救急・災害医学講座の講座研究費により実施されます。本研究に関与する研究者は、本研究に関係する企業等から個人的及び大学組織的な利益を得ておらず、開示すべき利益相反はありません。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問、本研究に対して拒否の申し出等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

岩手医科大学 岩手県高度救命救急センター

担当者：小鹿雅博

〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目1番1号

TEL：019-613-7111（内線2682）

研究責任者：

岩手医科大学 岩手県高度救命救急センター 小鹿雅博